

令和元年度
まちづくり活動
アシスト事業報告

佐田岬半島に鉱山の歴史あり

自分たちが楽しむことから 三崎精錬所跡保全プロジェクト

きっかけは
「えひめ地域づくり研究会議」

くだみさき未来塾
市川 和人
自分たちが楽しむこと、
まずは汗をかくこと



伊方町役場から車で40分。駐車場に車を停めて、山の中を歩くこと20分。森の中にひっそりとたたずんでいるのが、旧三崎精錬所跡です。



旧三崎精錬所跡

「日本一細長い半島」佐田岬半島は、中央構造線の外帯に接する三波川変成帯と呼ばれ、いわゆる「伊予の青石」が取れる地域であり、同時にキースラガー（含銅硫化鉄鉱）の鉱床が集中し、別子銅山のような鉱山業が栄えた地域でもあります。地元の町見郷土館の資料によると、明治以降100以上の銅鉱山が稼働しており、その鉱石を製錬（鉱石から金属を取り出す作業）する施設として、佐田岬半島周辺には3つの施設が作られました。その1つが三崎精錬所です。（2003年12月国登録有形文化財指定）

私たち、さだみさき未来塾は、地元佐田岬半島の文化、歴史、産業を学び、自分たちの町の未来を考え、行動することを目的に集まったゆるやかなネットワークです。

2016年



鉱山跡巡リツアー

に伊方町三崎二名津地区で行われた、「えひめ地域づくり研究会議主催の「南予地域ミニフォーラム in 佐田岬」をきっかけに、有志の皆さんと一緒に活動をしてきました。今回の「三崎精錬所跡保全プロジェクト」は、そのメンバーで、実際に鉱山跡地を巡る機会を作り、「佐田岬半島の鉱山のことをもっと多くの人に知ってもらおう」という思いから動き出したプロジェクト

私たちの活動は三崎精錬所跡に行くまでの「道づくり」から始まり、現在も、施設周辺の整備や調査を行っています。当初のメンバーだけでなく、地元の方や、ご縁のある方に協力してもらい、「あーせないけん」「こーせないけん」と互いに語りながら、楽しく続いています。

今回、ECPRの助成金をいただき作成した「佐田岬半島にある産業遺産！三崎精錬所を知ってるかい？」は、地元住民をはじめ、子どもたちにも興味を持っていただけるよう作り上げたものです。「まずは自分たちが楽しもう」、「出来るときに出来る人がやっつけていこう」というメンバーの思いと一緒に、これからの活動に生かしていきたいと思えます。最後になりましたが、ご協力をいただきました皆様様に心より感謝。引き続き、一緒に汗をかいていきましょう！